

平成28年度 社団法人
岐阜県臨床検査技師会 精度管理報告会

精度管理総括

佐藤 恵彦（関中央病院）



各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

日臨技システム JAMTQC 4月マスター登録

精度管理調査案内 5月

JAMTQC 参加申し込み 6月1日~15日

試料発送 8月28日

一次報告書発送 C,D評価施設 10月初旬

2次サーベイの参加確認

再入力期間 10月24~25日(10月31日~11月4日)

最終報告書 総括集 参加証 発送 12月末

精度管理報告会

- Photo設問 一部訂正
- 評価報告書 不備
- 是正報告書の送付先
- 一次報告書到着前
- H27年の表示
- 凝固検査評価 未表示

試料・項目の主な変更点

■ HbA1c

試料変更 プール血球(溶血) ⇒ 健常者 全血

■ 免疫(感染症)

追加項目 HIV

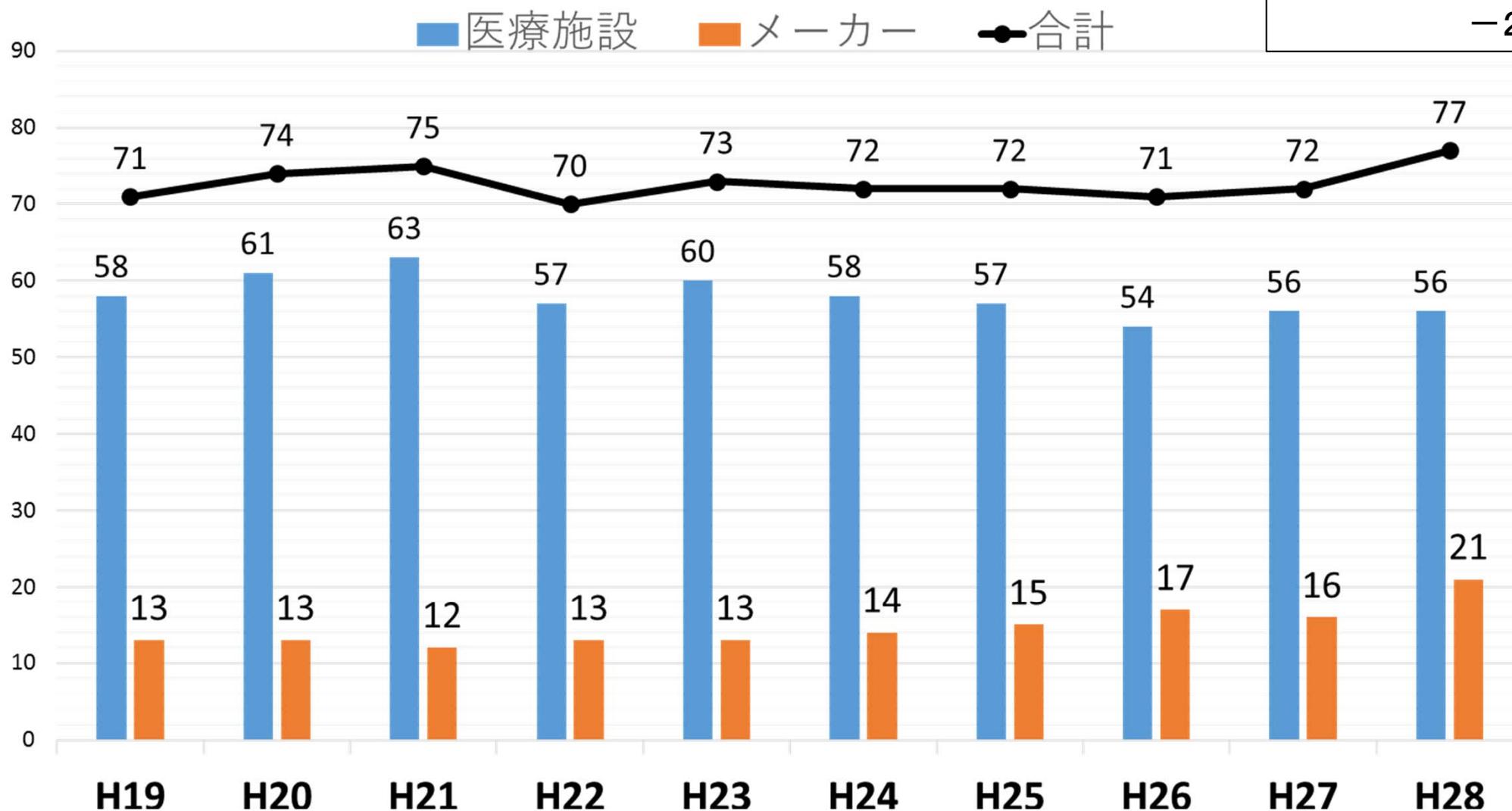
■ 免疫(腫瘍マーカー)

追加項目 (試料変更) ⇒ CA19-9 CA125

* 試料高値

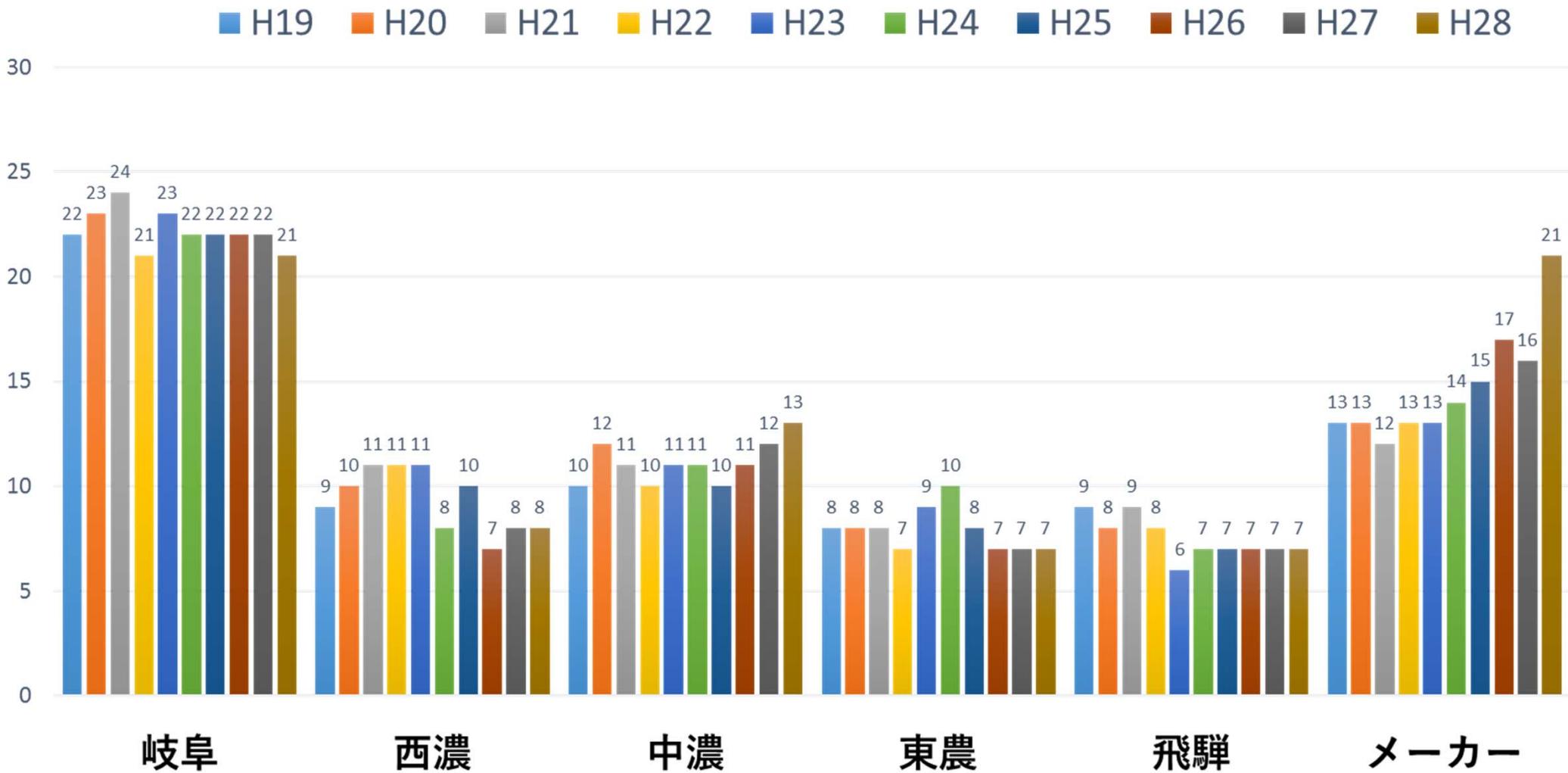
各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

参加施設数 詳細



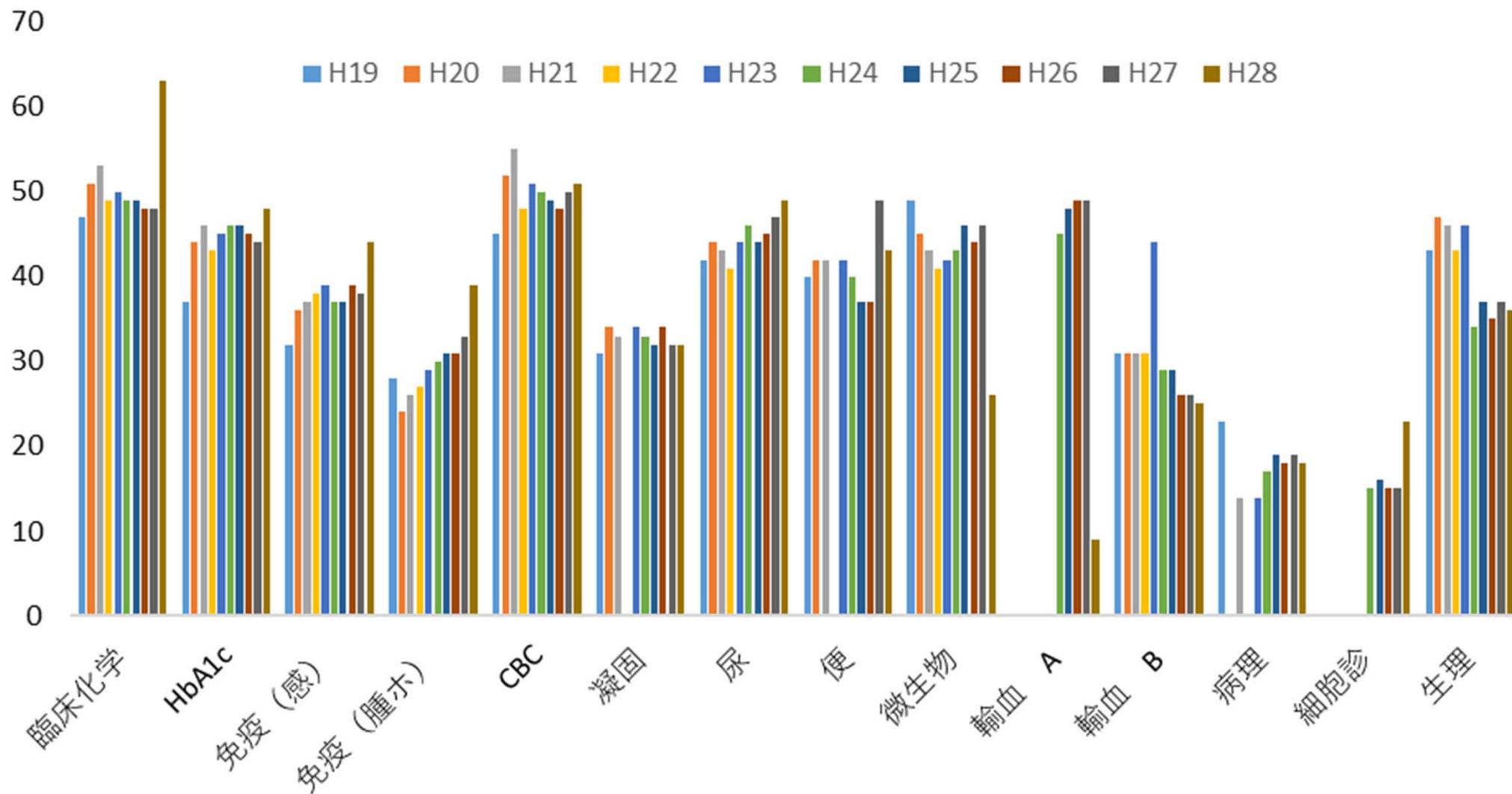
各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

地区別参加施設数の推移



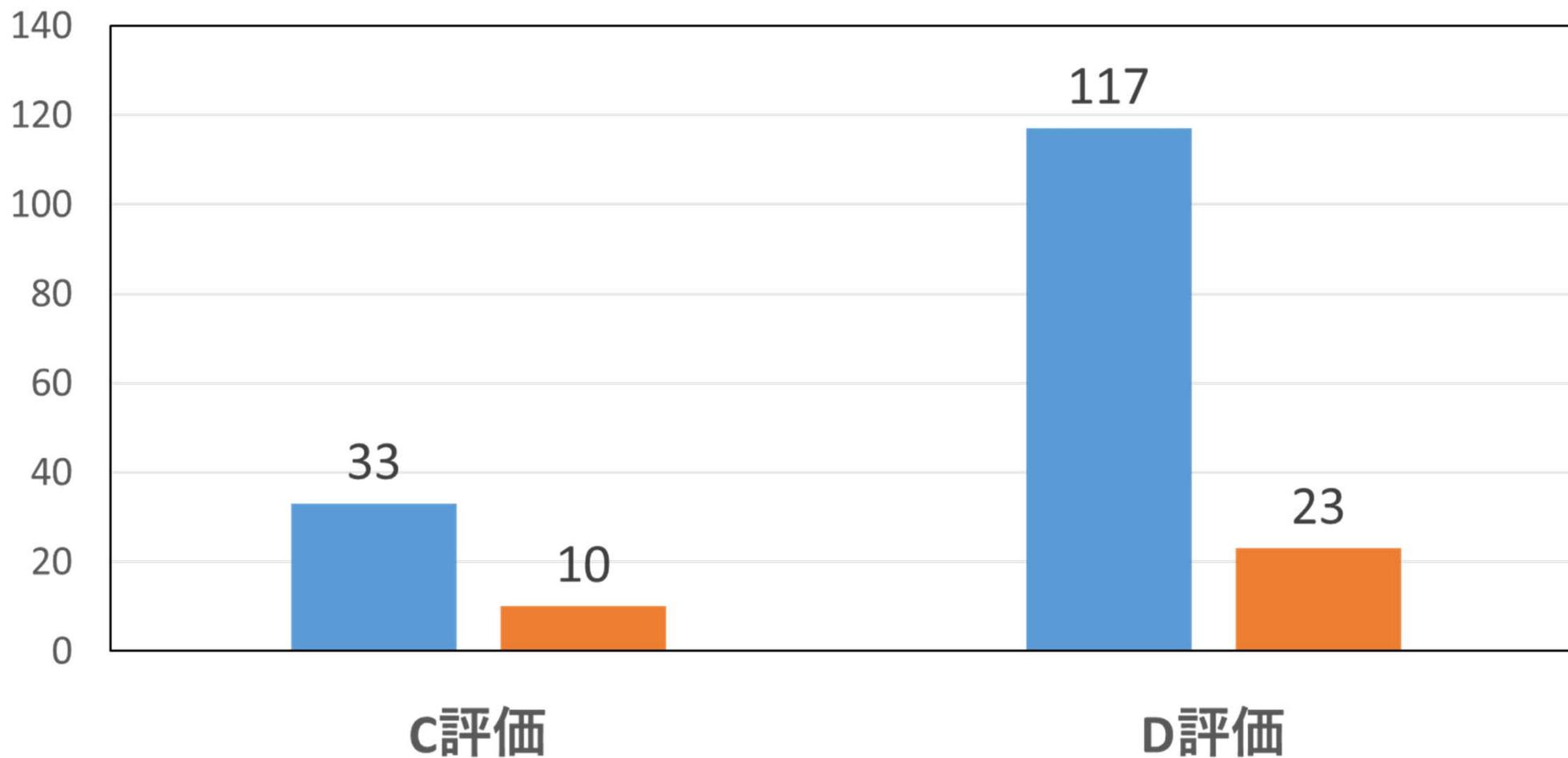
各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

試料別参加項目の推移



C、D評価の推移(全体)

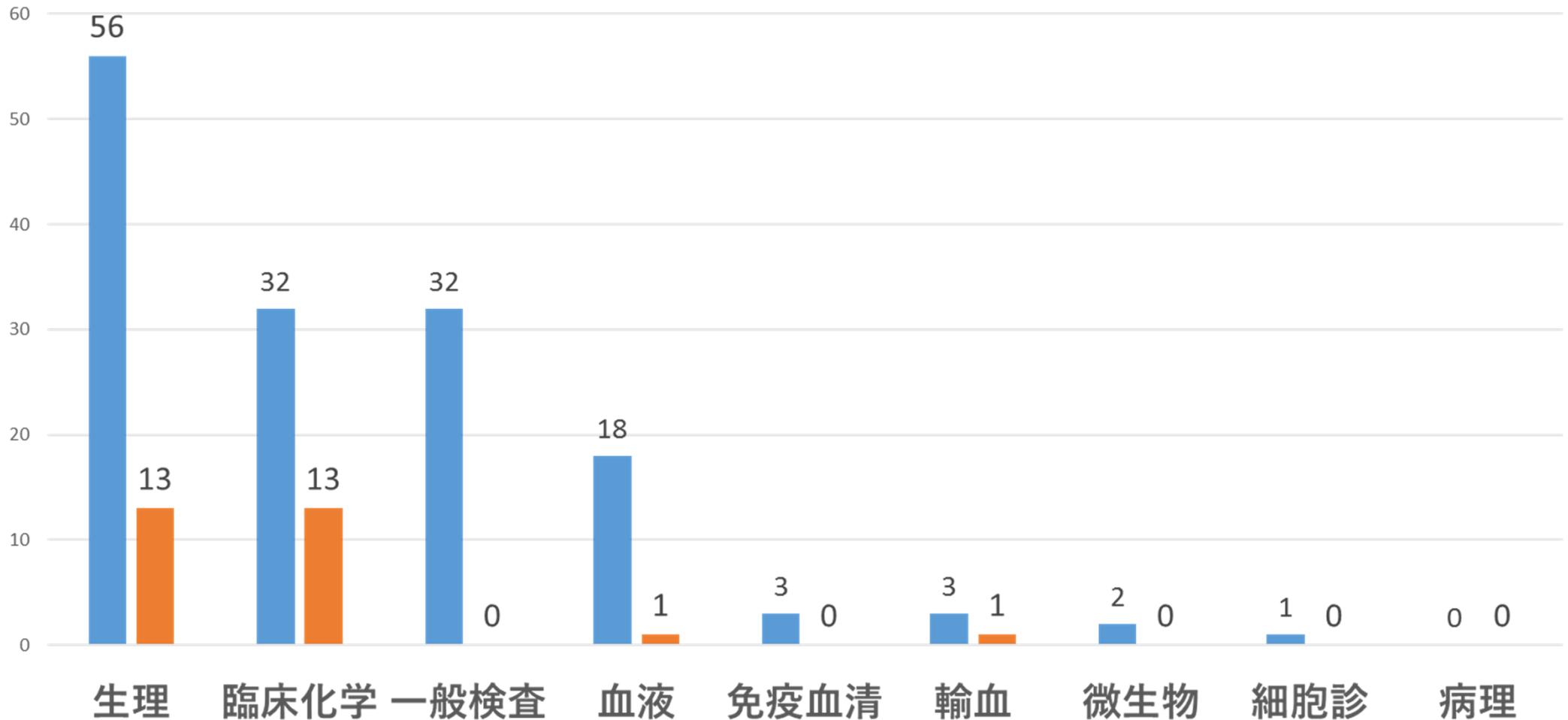
■ 1次評価 ■ 2次評価



各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

C、D評価の推移(部門別)

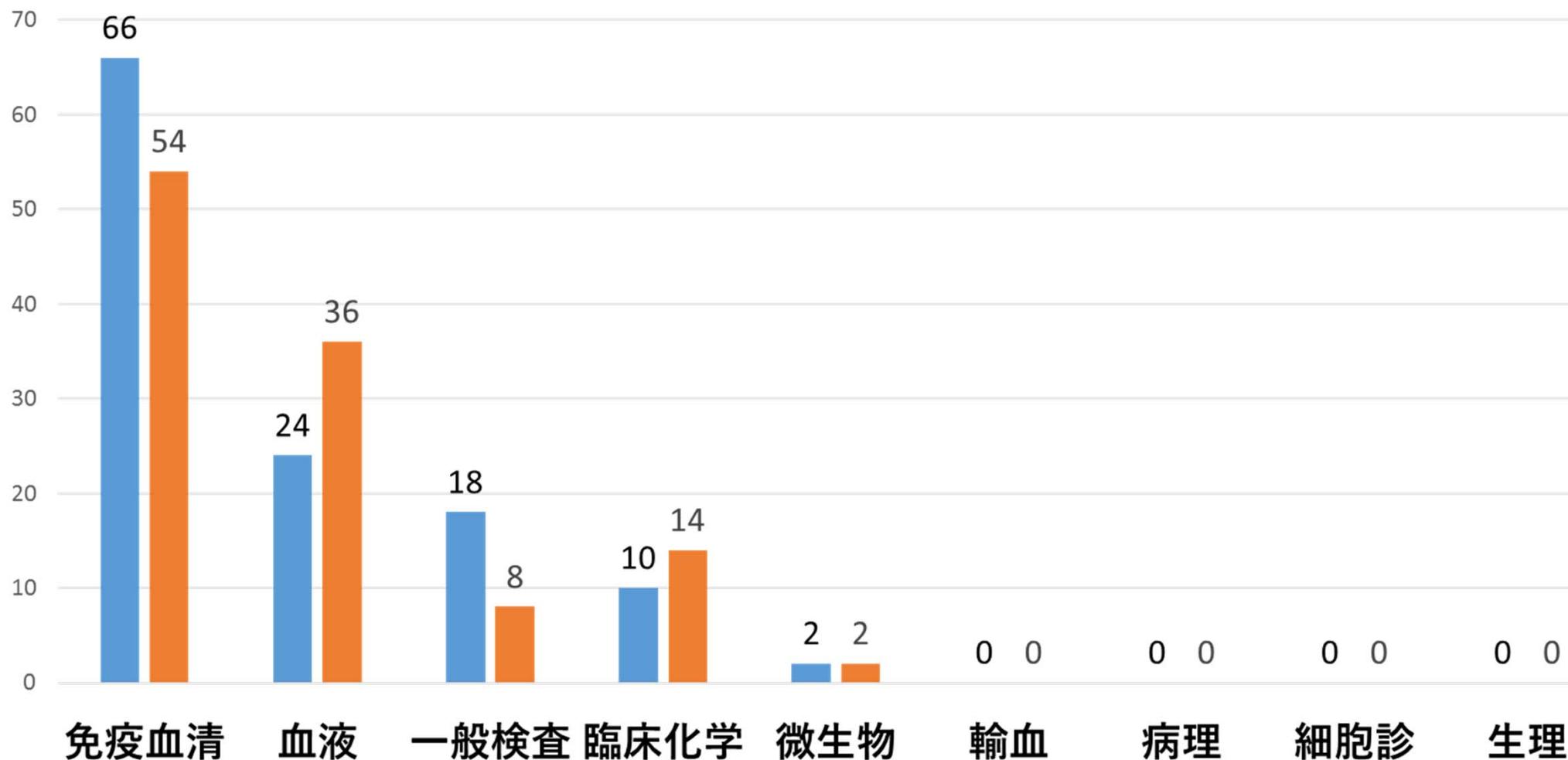
■ 1次集計 ■ 2次集計



各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

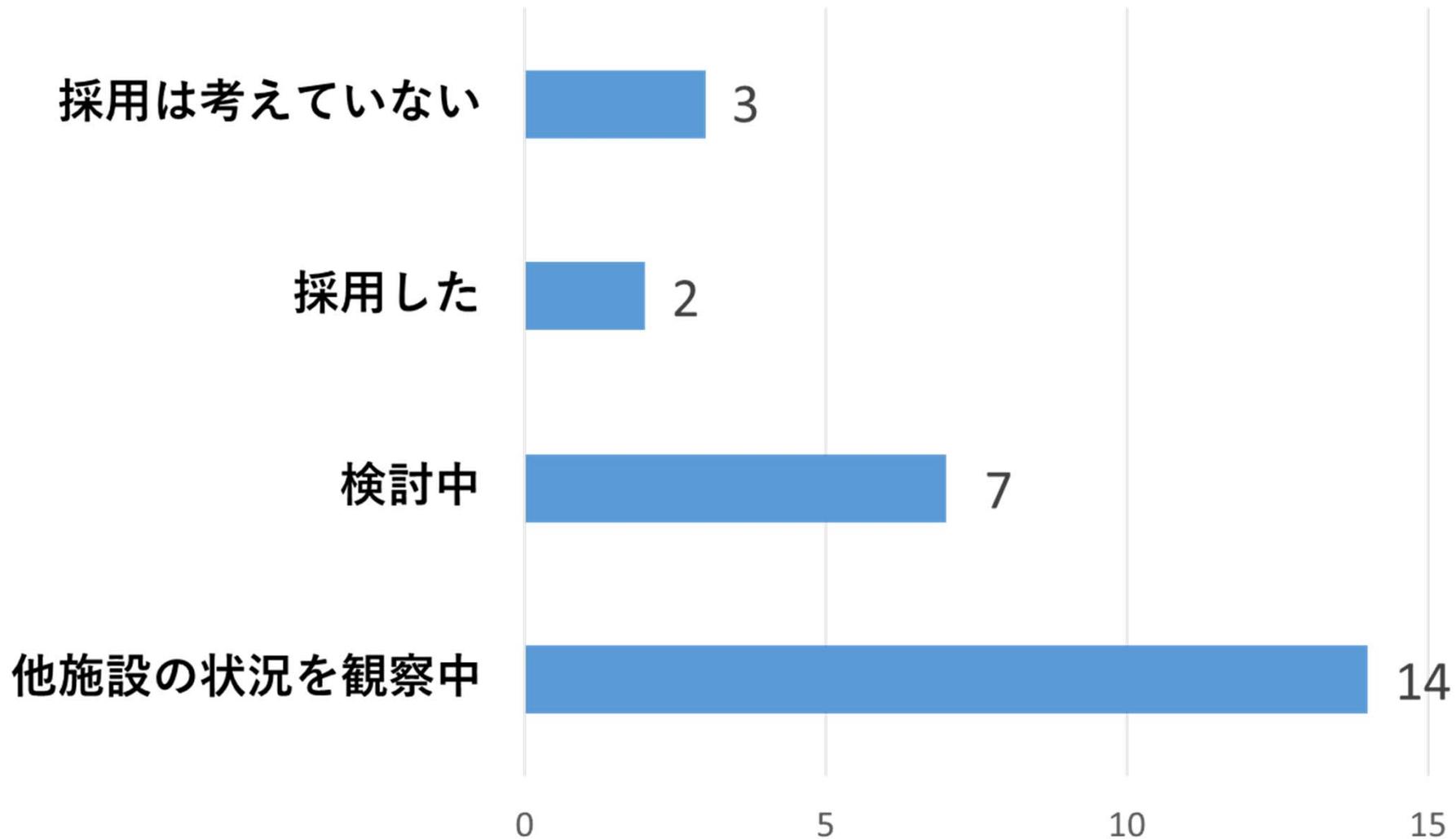
評価対象外の推移(部門別)

■ 1次集計 ■ 2次集計



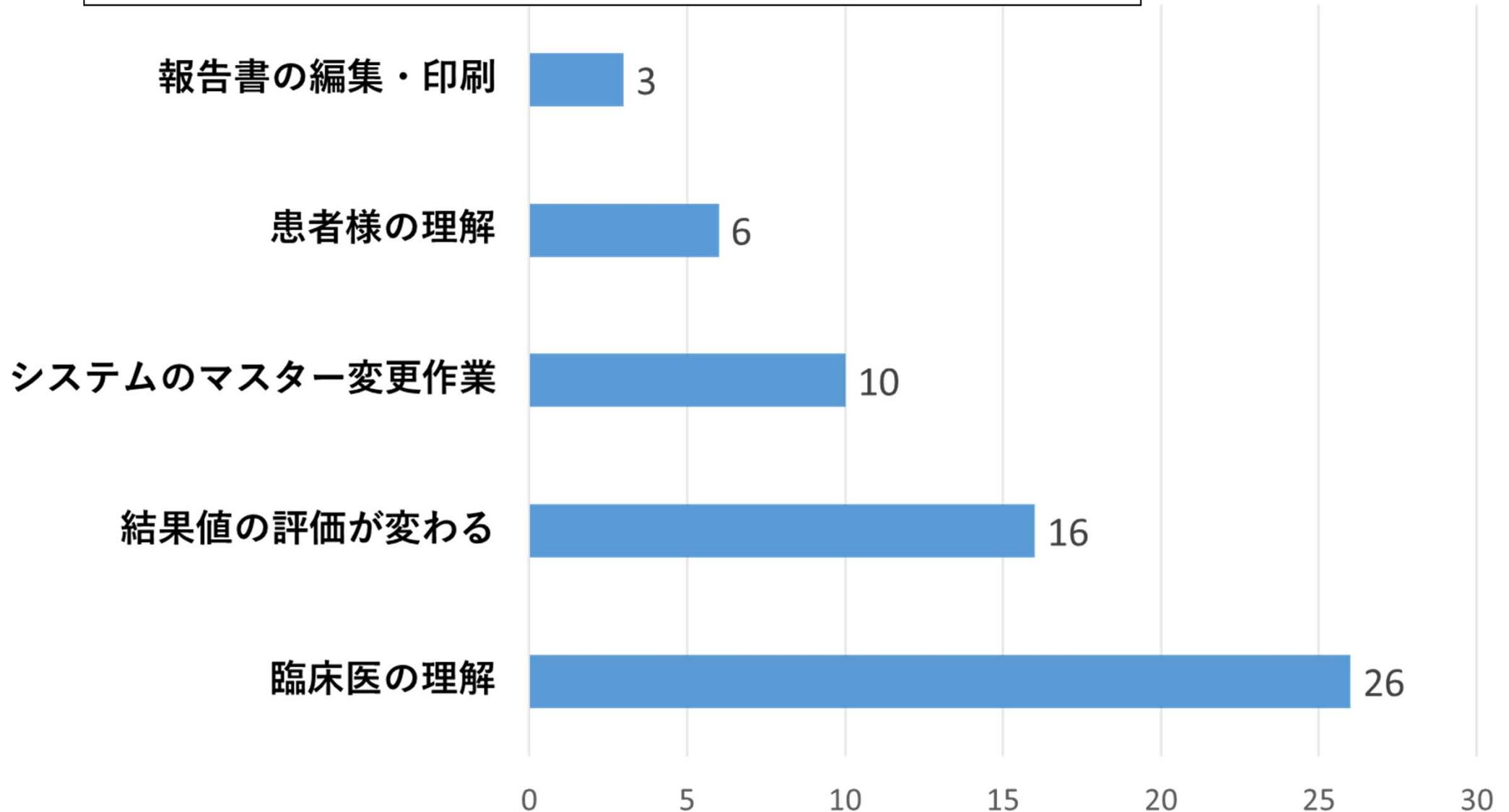
各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

共用基準範囲のアンケート調査結果 採用について



各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

共用基準範囲採用で最も障害となる事項は何か



まとめ

1. 参加施設数は、メーカー参加が増加し、臨床化学と免疫項目の参加が増加した。
2. HbA1cと免疫は試料の変更と項目数を増やした。
3. 1次評価でC,D施設には2次サーベイを実施し、2次評価ではC,Dが大幅に減少した。
4. 共用基準範囲の採用については、検討中が7施設、他施設観察中が14施設あり、採用の障害は「臨床医の理解」が最も多かった。